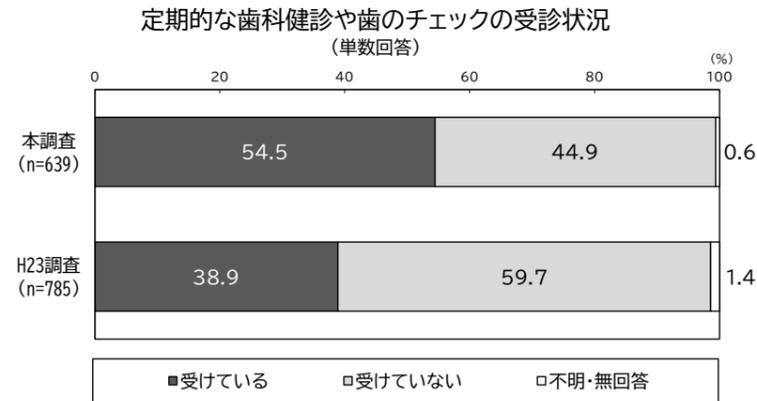


4.1. 定期的な歯科健診や歯のチェックの受診 (問 4-1~4-2)

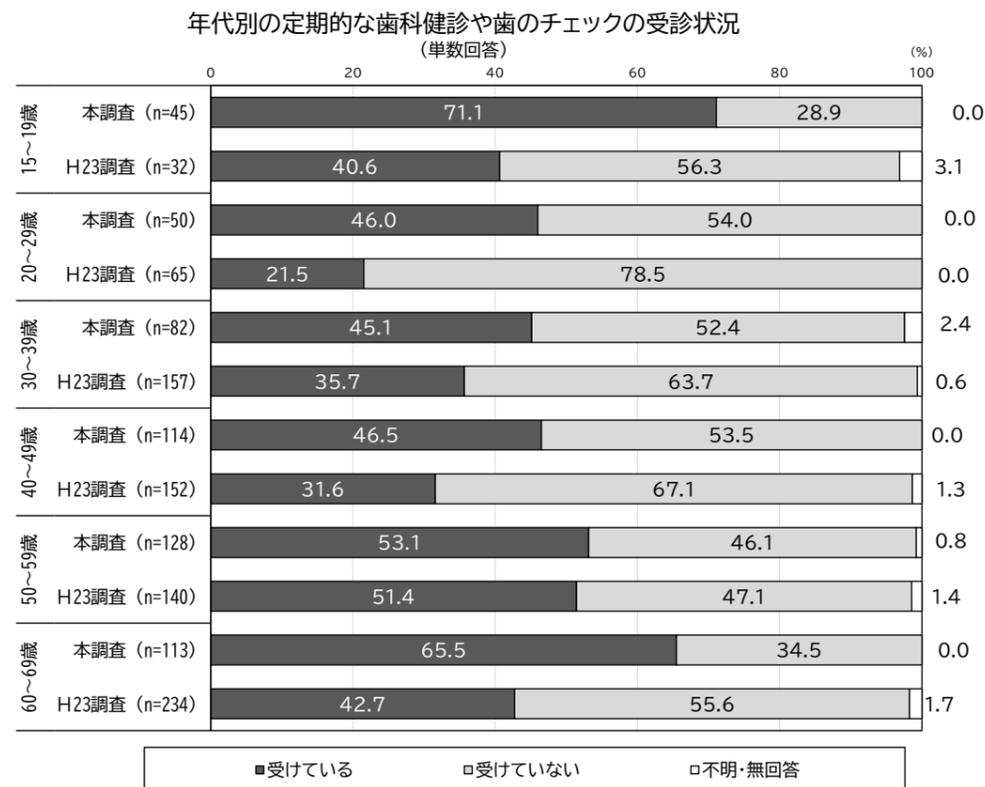
① 定期的な歯科検診や歯のチェックの受診状況

「受けている」が54.5%、「受けていない」が44.9%となっています。
「H23 調査」と比較すると、定期的な歯科健診や歯のチェックを受けている人が多くなっています。



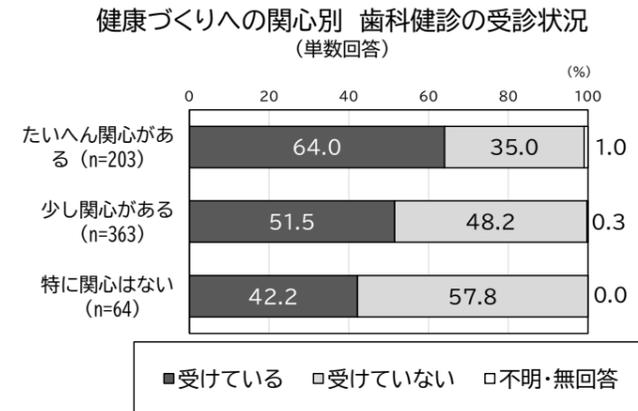
【年代別・経年比較】

年代別にみると、「15~19 歳」「60~69 歳」で「受けている」が多く、「40~49 歳」で少なくなっています。
「H23 調査」と比較すると「15~19 歳」「20~29 歳」「40~49 歳」「60~69 歳」で「受けている」が多くなっています。



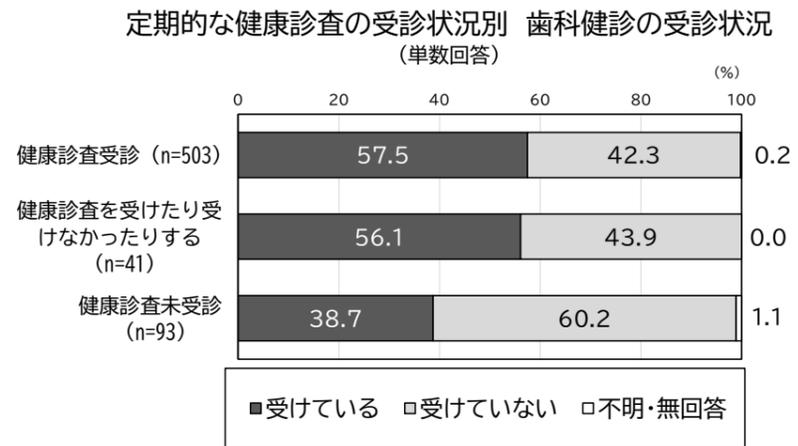
【健康づくりへの関心別にみた歯科健診の受診状況】

健康づくりに関心がある人ほど、歯科健診の受診が多くなっています。



【歯科健診の受診状況別にみた定期的な健康診査、がん検診の受診状況】

定期的な健康診査を受診している人ほど歯科健診の受診が多くなっています。がん検診については、「乳がん」のみ、歯科健診を受診している人の方が「受けている」が多くなっています。



歯科健診の受診状況	過去1年間に受けたがん検診								合計
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮がん	がすべ ない 受けた こと	その他	不明・ 無回答	
受けている (n=348)	23.6%	24.1%	12.4%	27.9%	25.6%	42.5%	4.6%	5.2%	165.8%
受けていない (n=287)	20.2%	22.0%	10.5%	15.3%	15.3%	48.8%	3.8%	6.6%	142.5%

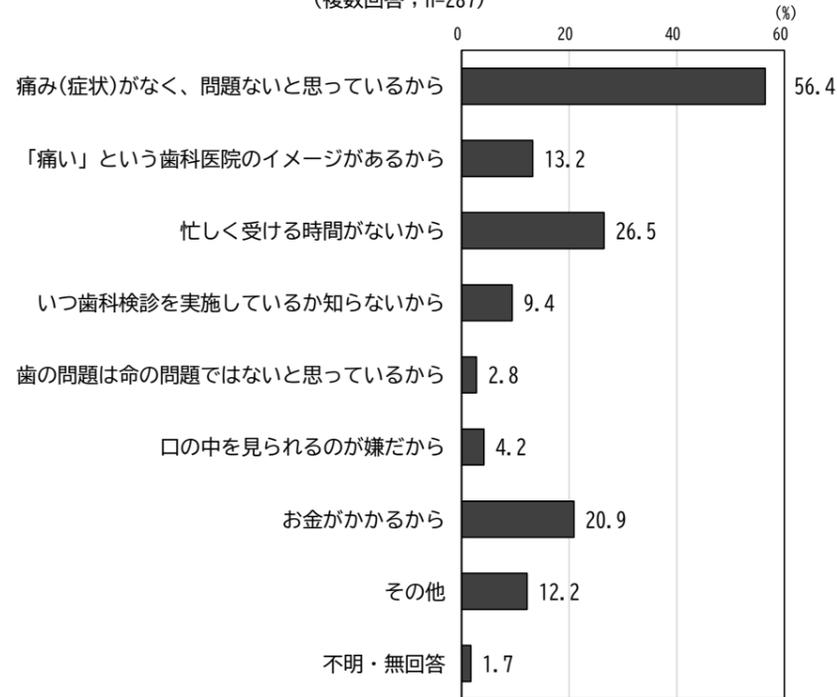
② 定期的な歯科検診や歯のチェックの未受診理由

(定期的な歯科検診や歯のチェックを「受けていない」と回答した人のみ)

「痛み(症状)がなく、問題ないと思っているから」が最も多く56.4%、次いで「忙しく受ける時間がないから」が26.5%、「お金がかかるから」が20.9%などとなっています。

定期的な歯科健診や歯のチェックの未受診理由

(複数回答; n=287)



【年代別・経年比較】

年代別にみると、すべての年代で「痛み(症状)がなく、問題ないと思っているから」が最も多くなっています。「30~39歳」「40~49歳」で「忙しく受ける時間がないから」が多くなっています。

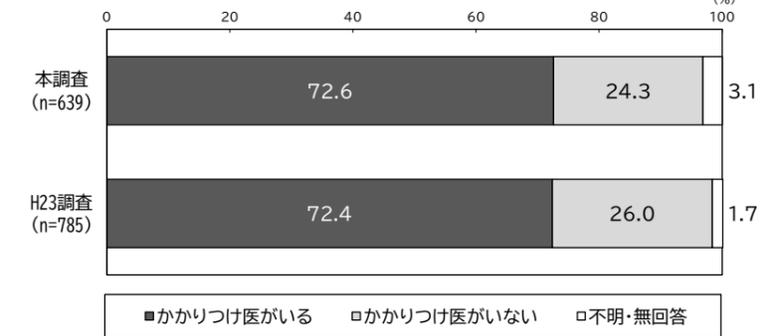
	痛み(症状)がなく、問題ないと思っているから	「痛い」という歯科医院のイメージがあるから	忙しく受ける時間がないから	いつ歯科検診を実施しているか知らないから	歯の問題は命の問題ではないと思っているから	口の中を見られるのが嫌だから	お金がかかるから	その他	不明・無回答
15~19歳 (n=13)	38.5	15.4	30.8	7.7	15.4	0.0	30.8	0.0	7.7
20~29歳 (n=27)	55.6	22.2	33.3	18.5	0.0	0.0	33.3	7.4	0.0
30~39歳 (n=43)	58.1	9.3	41.9	11.6	2.3	2.3	16.3	7.0	2.3
40~49歳 (n=61)	57.4	9.8	41.0	9.8	3.3	0.0	18.0	14.8	0.0
50~59歳 (n=59)	54.2	13.6	23.7	8.5	3.4	5.1	27.1	11.9	0.0
60~69歳 (n=39)	64.1	12.8	10.3	10.3	0.0	10.3	15.4	10.3	2.6
70歳以上 (n=45)	55.6	15.6	4.4	2.2	2.2	8.9	15.6	22.2	4.4

4.2. 歯科のかかりつけ医の有無(問4-3)

「歯科のかかりつけ医がいる」が72.6%、「歯科のかかりつけ医がない」が24.3%となっています。「H23調査」と比較すると、歯科のかかりつけ医の有無に差はみられません。

歯科のかかりつけ医の有無

(単数回答)



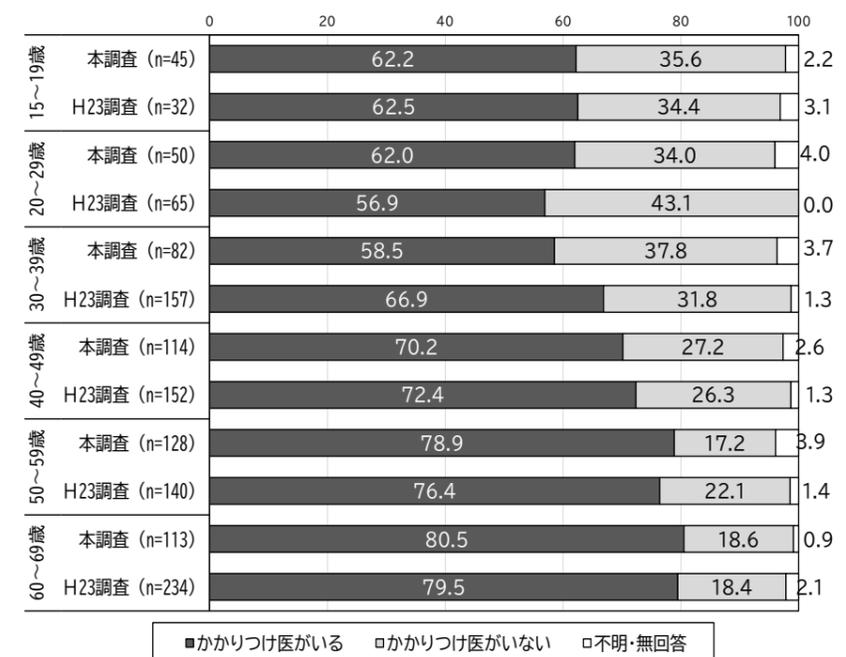
【年代別・経年比較】

年代別にみると、すべての年代でかかりつけ医がいるが多くなっています。「30~39歳」で「かかりつけ医がいる」が少なくなっています。

「H23調査」と比較して、年代別の歯科のかかりつけ医の有無に差はありません。

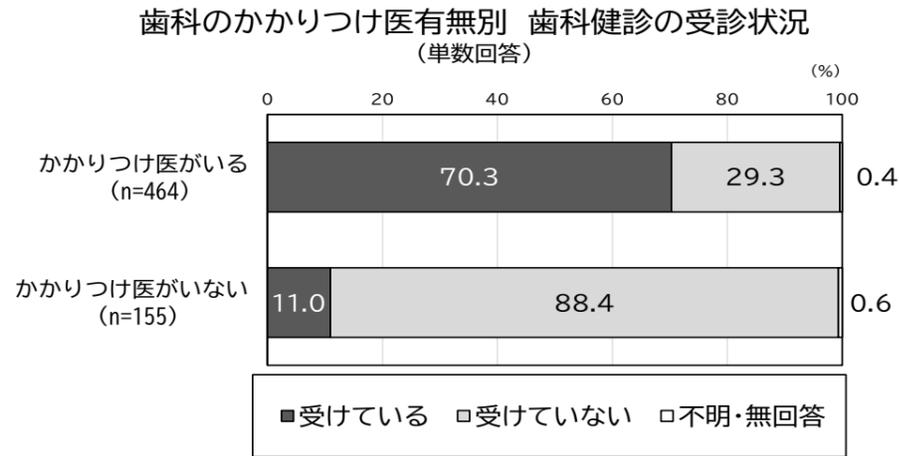
年代別の歯科のかかりつけ医の有無

(単数回答)



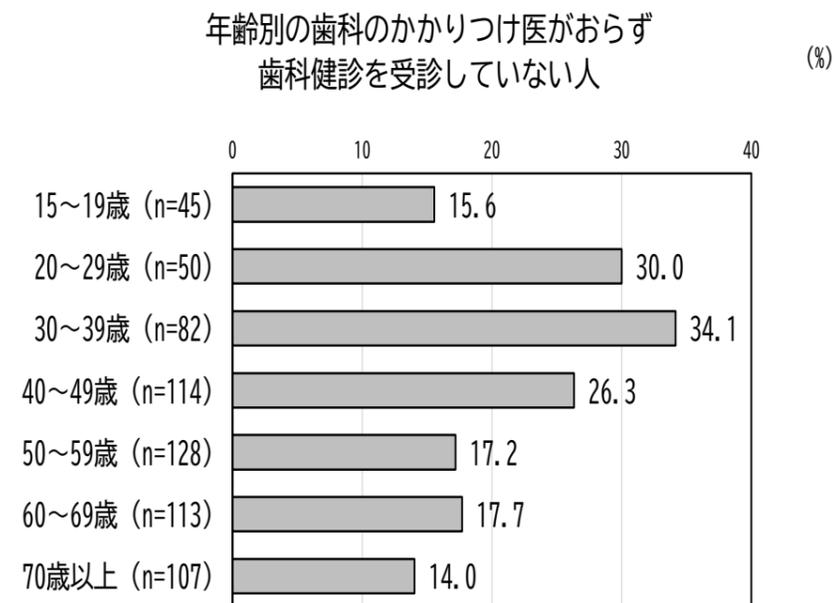
【歯科のかかりつけ医の有無別にみた歯科健診の受診状況】

歯科のかかりつけ医がいる人ほど歯科健診の受診率は高くになっています。



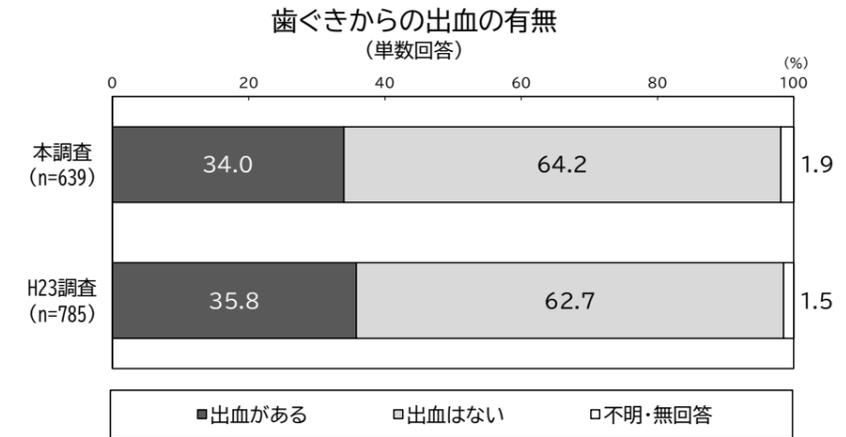
【歯科のかかりつけ医がおらず、歯科健診を受診していない人】

歯科のかかりつけ医がおらず、歯科健診も未受診の人をみると「30～39歳」で多くなっています。



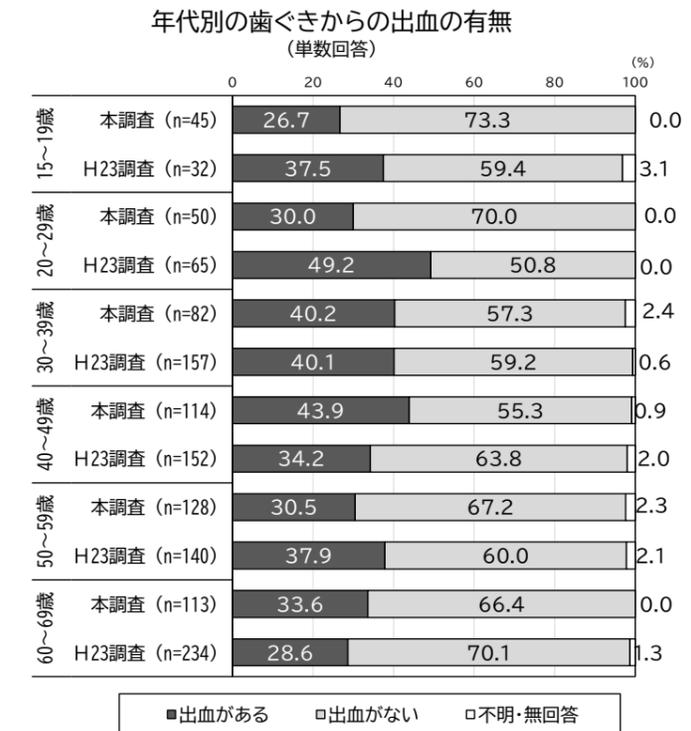
4.3. 歯ぐきからの出血の有無 (問 4-4)

「出血がある」が 34.0%、「出血はない」が 64.2%となっています。
「H23 調査」と比較すると、歯ぐきからの出血の有無に差はみられません。



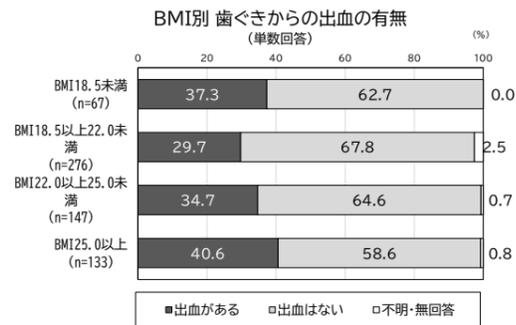
【年代別・経年比較】

年代別にみると、すべての年代で「出血はない」が多く、年代による差はみられません。
「H23 調査」と比較して、「20～29歳」のみ「出血がある」が少なくなっています。



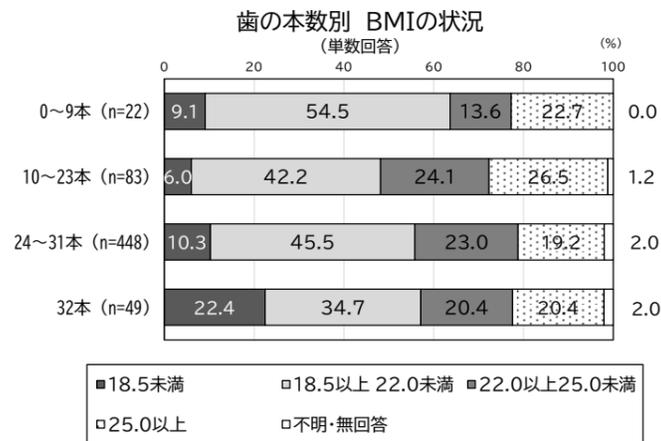
【BMI 別にみた歯ぐきからの出血の有無】

BMI に関わらず「出血はない」が多く、また「出血がある」について差はみられません。



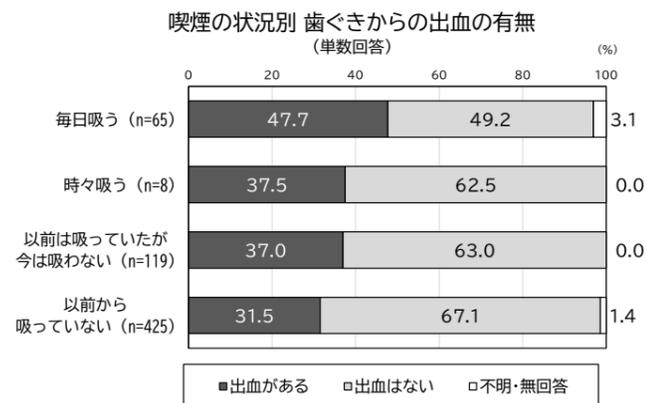
【歯の本数別にみた BMI】

歯の本数別に BMI の状況を見ると、BMI に関わらず「18.5 以上 22.0 未満」が多くなっています。また「歯の本数による「やせ (BMI18.5 未満)」「肥満 (BMI25.0 以上)」の状況について差はみられません



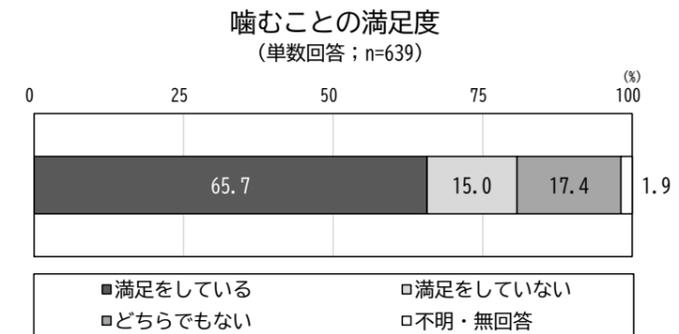
【喫煙の状況別歯ぐきからの出血の有無】

毎日吸う人において、「出血がある」が多くなっています。



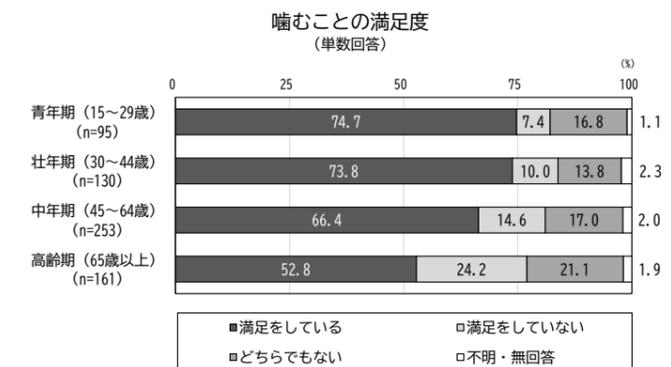
4.4. 噛むことの満足度 (問 4-5)

「満足をしている」が 65.7%、「満足をしていない」が 15.0%、「どちらでもない」が 17.4%となっています。



【ライフステージ別】

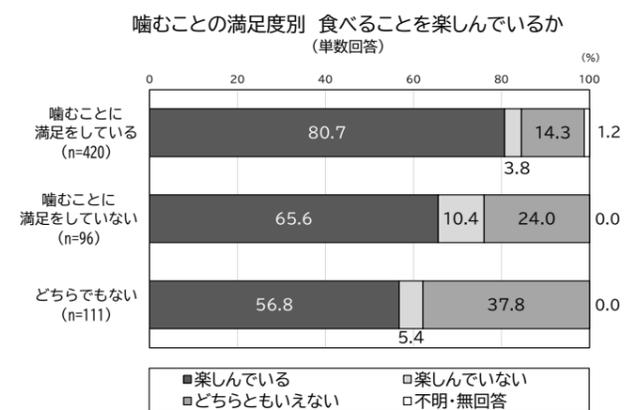
ライフステージ別にみると、すべてのライフステージで「満足をしている」が最も多くなっていますが、年齢が上がるにつれて「満足をしている」が少なくなっており、「高齢期」では「満足をしていない」が他のライフステージよりも多くなっています。



【噛むことの満足度別にみた食べることの楽しみ】

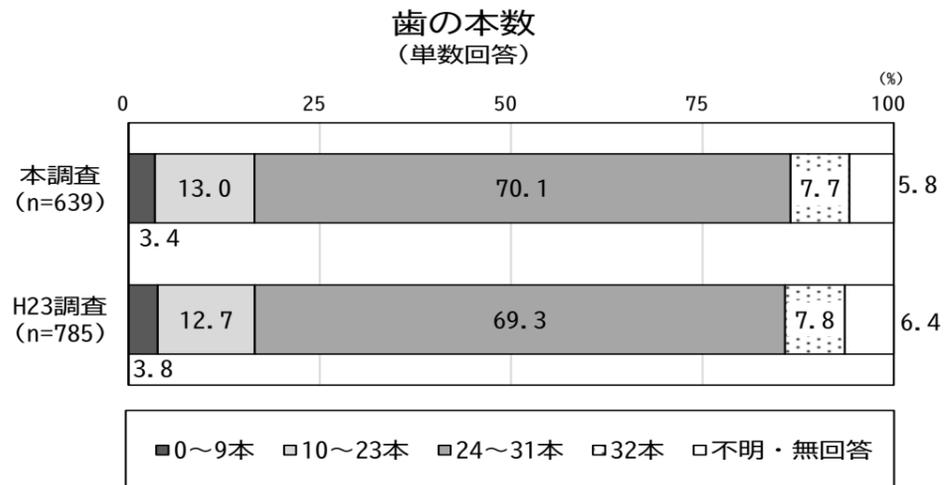
噛むことの満足度に関わらず「満足をしている」が最も多くなっています。

噛むことに満足をしている人は「楽しんでいる」が多く、噛むことに満足していない人は「楽しんでいる」が多くなっています。

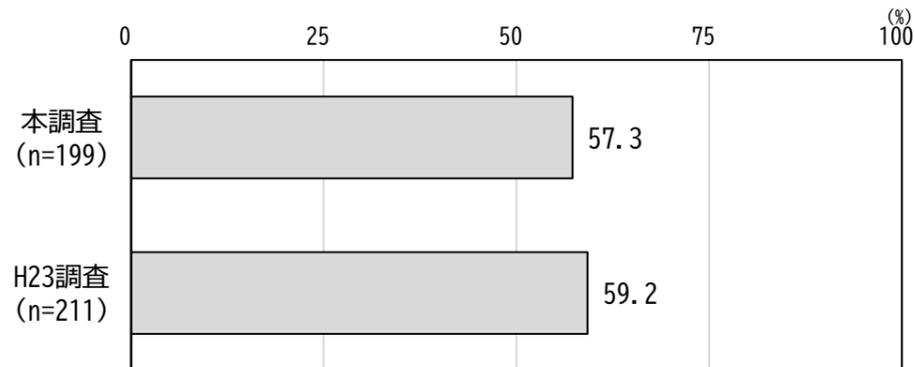


4.5. 歯の本数(問4-6)

「24～31本」が最も多く70.1%、次いで「10～23本」が13.0%、「32本」が7.7%などとなっています。
 「H23調査」と比較すると、歯の本数に差はみられません。
 60歳以上で24本以上の人の割合について「H23調査」と比較すると、差はみられません。



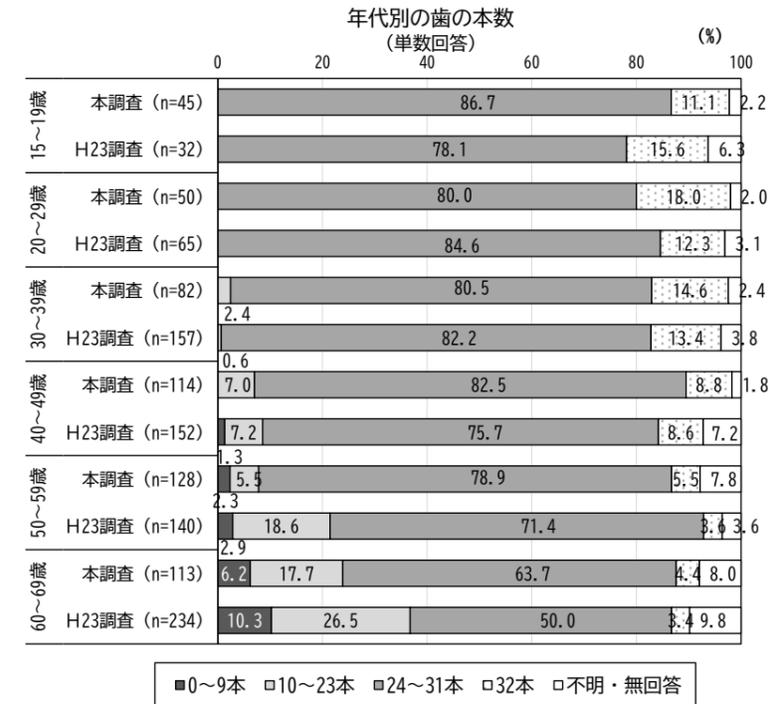
60歳以上で歯が24本以上の人の割合



※本調査は「60歳以上」、H23調査は「60～69歳」を対象としている。

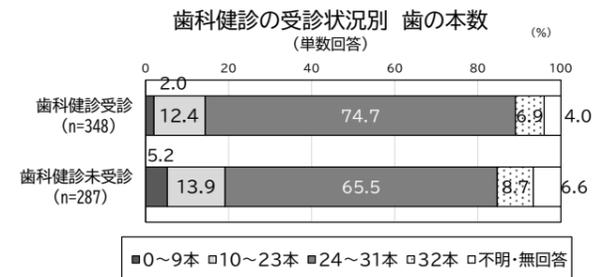
【年代別・経年比較】

年代別にみると、すべての年代で「24～31本」が最も多くなっています。「15～19歳」「40～49歳」「50～59歳」で「24～31本」が多くなっています。
 「H23調査」と比較して、「50～59歳」「60～69歳」で「24～31本」が多くなっています。



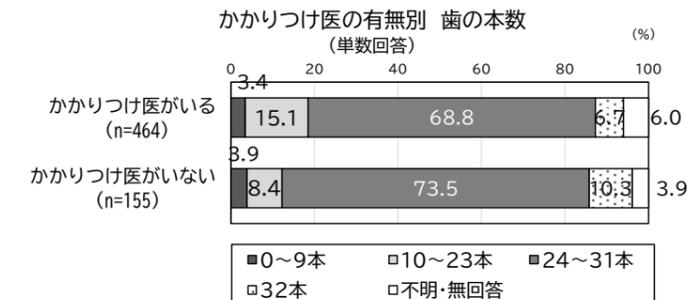
【歯科健診の受診状況にみた歯の本数】

歯科健診を受診している人ほど、歯が「24～31本」が多くなっています。



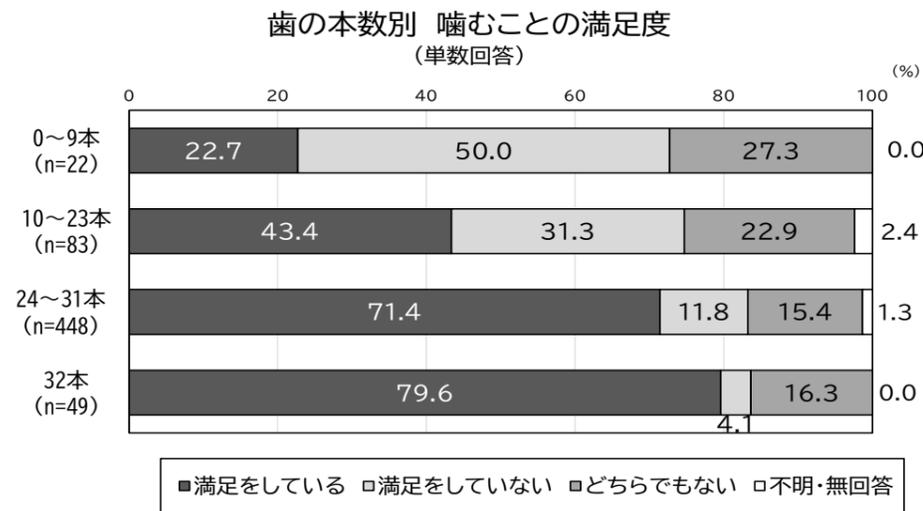
【歯科健診の受診状況にみた歯の本数】

かかりつけ医の有無と歯の本数に差はなく、かかりつけ医の有無にかかわらず「24～31本」が最も多くなっています。



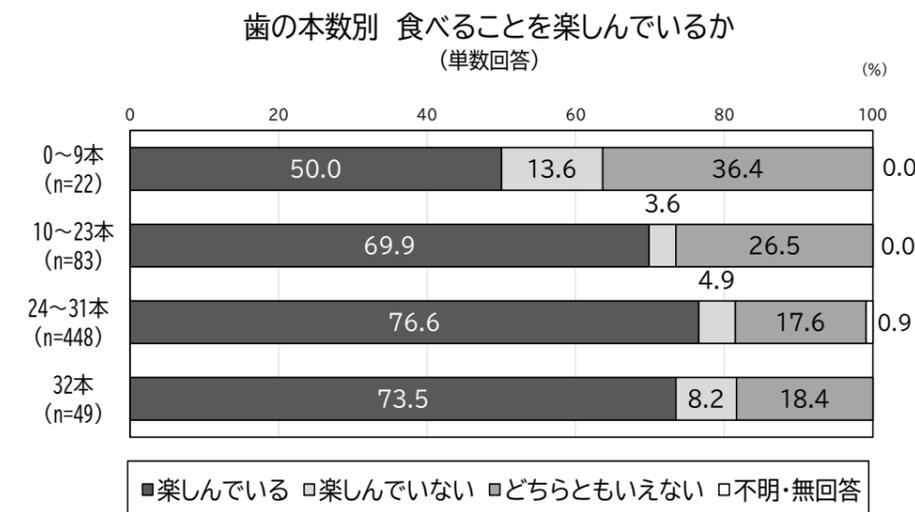
【歯の本数別にみた噛むことの満足度】

歯の本数別にみると、「0～9本」「10～23本」で「満足をしていない」が多く、「24～31本」で「満足している」が多くなっています。



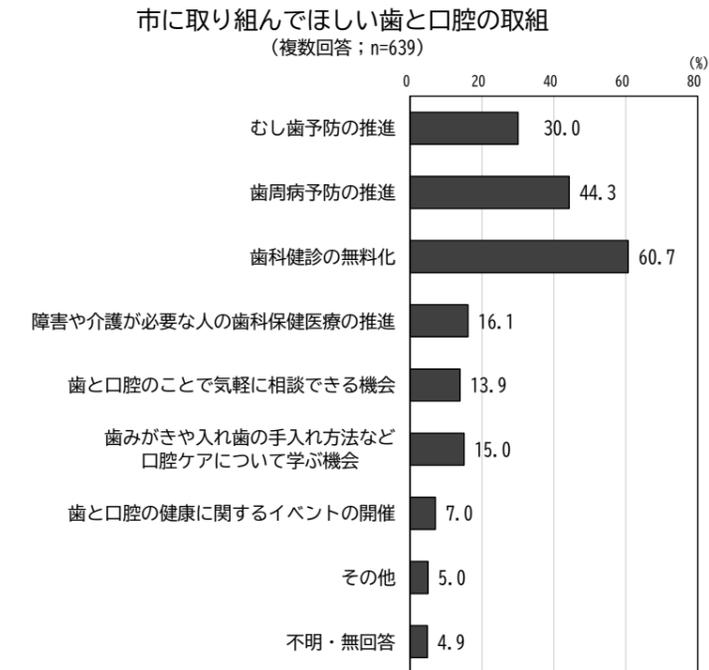
【歯の本数別にみた食べることの楽しさ】

歯の本数別に関わらず「楽しんでいる」が最も多くなっています。「0～9本」で「楽しんでいる」が少なくなっています。



4.6. 市に取り組んでほしい歯と口腔の取組 (問 4-7)

「歯科健診の無料化」が最も多く 60.7%、次いで「歯周病予防の推進」が 44.3%、「むし歯予防の推進」が 30.0% などとなっています。



【ライフステージ別】

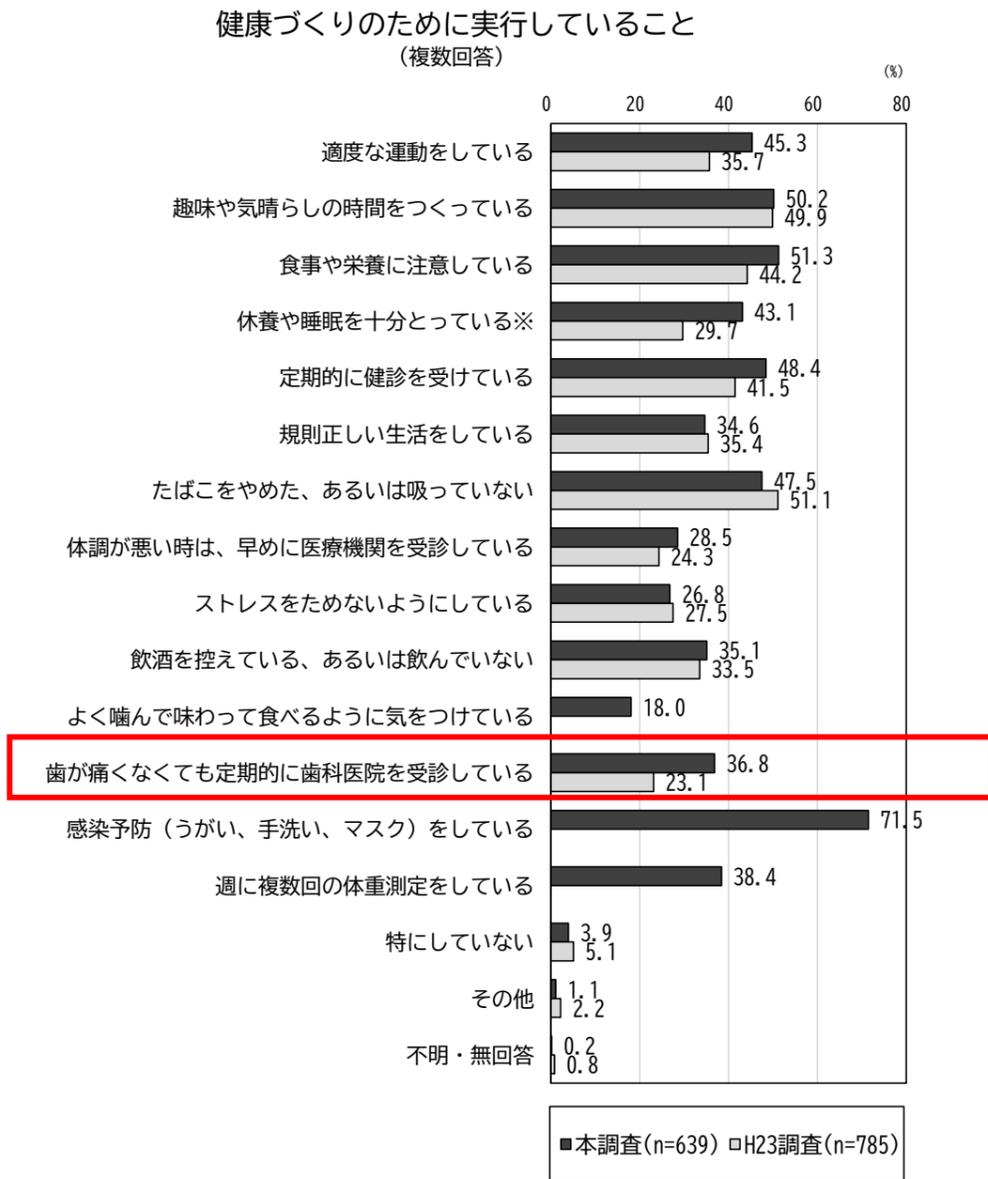
ライフステージ別にみると、すべてのライフステージで「歯科健診の無料化」が最も多くなっており、市に取り組んでほしい歯と口腔の取組に差はみられません。

ライフステージ別	青年期 (15～29歳) (n=95)	市に取り組んでほしい歯と口腔の取組									合計
		むし歯予防の推進	歯周病予防の推進	歯科健診の無料化	障害や介護が必要な人の歯科保健医療の推進	歯と口腔のことで気軽に相談できる機会	歯みがきや入れ歯の手入れ方法など口腔ケアについて学ぶ機会	歯と口腔の健康に関するイベントの開催	その他	不明・無回答	
青年期 (15～29歳) (n=95)		36.8%	36.8%	66.3%	9.5%	7.4%	11.6%	6.3%	4.2%	1.1%	180.0%
壮年期 (30～44歳) (n=130)		34.6%	43.8%	57.7%	16.9%	14.6%	16.9%	5.4%	6.9%	2.3%	199.2%
中年期 (45～64歳) (n=253)		30.0%	46.6%	63.2%	16.2%	15.0%	13.0%	6.3%	4.3%	4.7%	199.6%
高齢期 (65歳以上) (n=161)		22.4%	45.3%	55.9%	19.3%	15.5%	18.6%	9.9%	5.0%	9.3%	201.2%

※参考：2.2. 健康づくりのために実行していること (問2-2)

「感染予防(うがい、手洗い、マスク)をしている」が最も多く71.5%、次いで「食事や栄養に注意している」が51.3%、「趣味や気晴らしの時間をつくっている」が50.2%などとなっています。

「H23調査」と比較すると、「適度な運動をしている」「食事や栄養に注意している」「休養や睡眠を十分とっている」「定期的に健診を受けている」「歯が痛くなくても定期的に歯科医院を受診している」が多くなっています。



※H23調査では「睡眠を十分にしている」「休養を十分にしている」の選択肢があり、「休養を十分にしている」と比較。

※「よく噛んで味わって食べるように気をつけている」「感染予防(うがい、手洗い、マスク)をしている」「週に複数回の体重測定をしている」は本調査のみ。

【「歯が痛くなくても定期的に歯科医院を受診している」についての年代・経年比較】
「H23調査」と比較すると、すべての年代で多くなっています。

